

農業における環境負荷軽減の取組み

ホーム > サステナビリティ > 環境 > 農業における環境負荷軽減の取組み

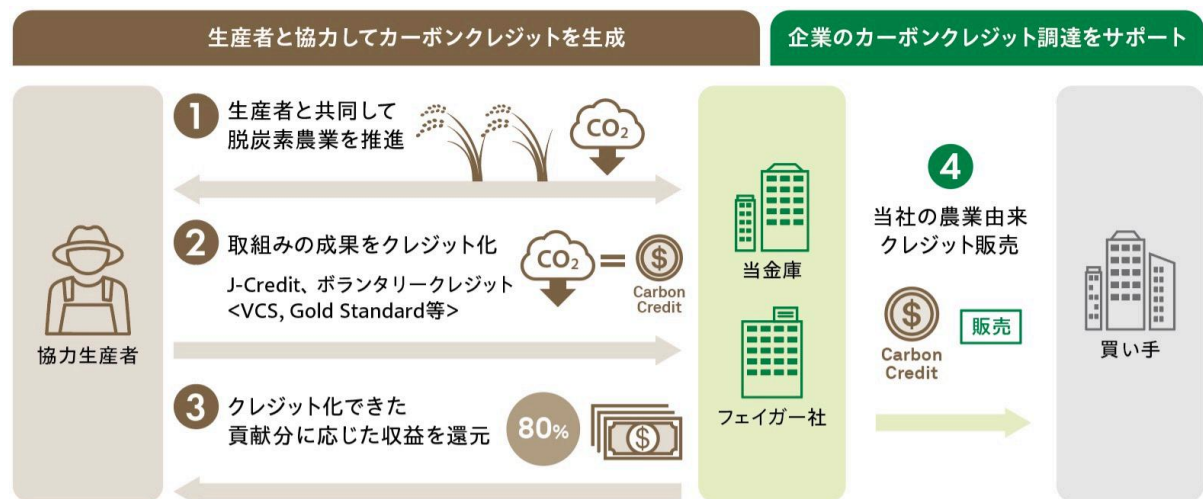
農業分野における環境配慮の取組み

世界の温室効果ガス排出量のうち、農業・林業・その他土地利用に由来する排出量は約4分の1を占めると言われています。また、台風・洪水・高温などの自然災害が年々増加し、農作物への被害は深刻となっています。当金庫は農林水産業を基盤とする金融機関として、これらの課題解決に率先して貢献していきます。

農業由来のカーボנקレジット創出支援

当金庫と株式会社フェイガー（以下、当社）は、農業分野におけるカーボנקレジットの創出支援を通じた脱炭素農業の推進とカーボנקレジットによる収益化の拡大に取り組むことを目的とした業務提携契約を締結しました。当社は農業由来カーボנקレジットの生成を行っており、農業者への脱炭素の取組支援およびクレジット化を通じた収益化を行う日本初のスタートアップです。

本件業務提携では、幅広い農業者に対して脱炭素農業の紹介（水田中干しによるメタン削減等）とカーボנקレジット組成による収益化の提案を行うことで、農業における脱炭素を促進します。



高機能バイオ炭を活用した農業分野の脱炭素化

農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」では、脱炭素化に向けた施策のひとつとして、輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用低減等が謳われています。

当金庫は株式会社TOWING（以下、当社）との間で、高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」の販路拡大にかかる業務提携契約を締結しました。

バイオ炭は従来より土壌改良資材として使用されており、農地へ施用すると炭素が土壌中に貯留することで大気中のGHG削減にも繋がります。当社は、国内で発生した植物残渣や食品加工残渣などを炭化したバイオ炭（多孔体）に、独自スクリーニングした土壌微生物を付加し、有機肥料で培養した高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」を開発・販売しており、炭素貯留によるカーボנקレジット発行にかかる代理申請、販売も手掛けています。

本業務提携では、当社の高機能バイオ炭に関するノウハウと、当金庫取引先等のネットワークや知見を活かし、宙炭の展開を通じた持続可能な農業の実現を目指します。今後、宙炭の活用で組成されたカーボנקレジットを当金庫が食農関連企業等へ仲介することも検討しています。

カーボנקレジットを活用した取組みにより、生産者所得増加と食農バリューチェーン上のGHG排出量削減に貢献していきます。



トピック

インセッティングコンソーシアム

カーボンプレジットによるオフセットは必ずしもバリューチェーン（以下、VC）の中だけで成り立つものではなく、VC外の場合、川中・川下から川上への投資や支援とはなりますが、その環境価値は、川中・川下にとってVCの負荷軽減と強化に直接的につながるものではありません。そのため、VC内での環境価値の創出とそれに向けた川中・川下から川上への投資・支援の流れをより強固なものにするために、当金庫は「インセッティング」の概念に着目しています。インセッティングは、企業が自社のVC内で環境価値を創出するために、川上への投資・支援を行い、VC全体で環境価値をはじめとする利益を享受することを企図した概念です。当金庫はその普及拡大を目指すステークホルダーの連携枠組みである「インセッティングコンソーシアム」を賛同企業の皆さまとともに2024年8月に設立しております。インセッティングコンソーシアム等を活用し、プラクティス形成をリードしつつ、川上においては、基盤強化や環境配慮型経営への転換を支援する担い手コンサル等を、川中・川下においてはサステナブル・ファイナンスやTNFD開示コンサル等を織り交ぜながら、川中・川下から川上への投資・支援の流れを強く、大きくしていくことで、VCのトランジションを推進します。

インセッティングコンソーシアムの取組みイメージ

